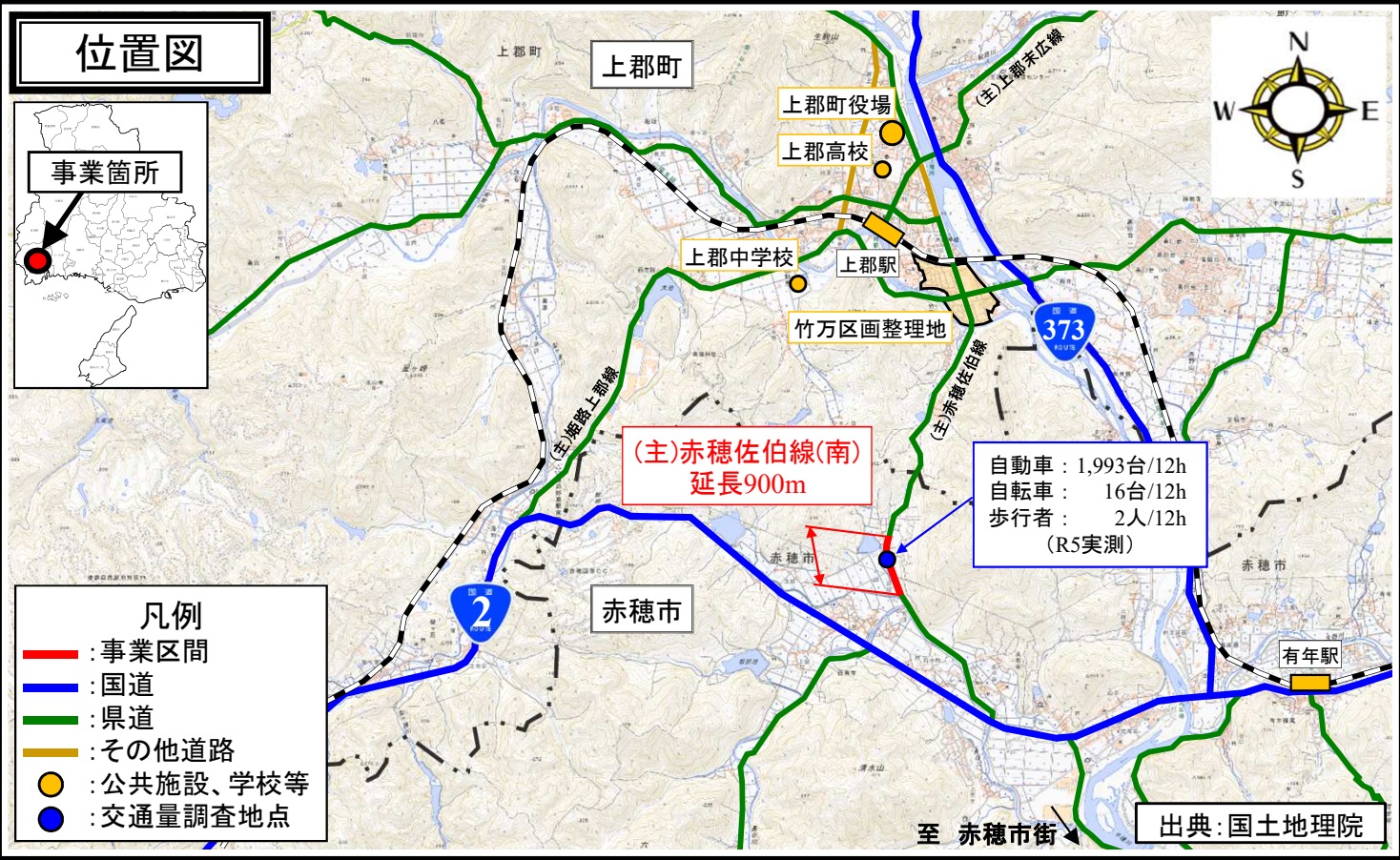


道路事業 主要地方道 赤穂佐伯線 [南]



目的

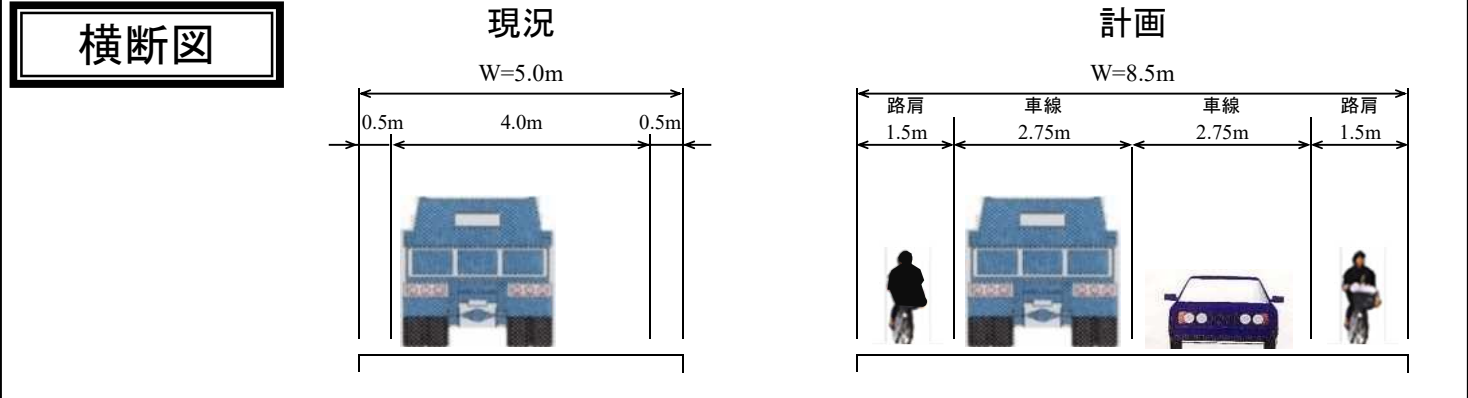
- ①安全・安心で円滑な交通の確保
- ②安全な自転車通行の確保
- ③赤穂市と上郡町の連携強化

事業概要

事業区間：赤穂市西有年
 総事業費：3.6億円
 内用地補償費：0.8億円
 事業期間：R6～R13
 事業概要：現道拡幅
 延長：900m
 計画幅員：5.5m(8.5m)
 計画交通量：2,300台/日(R22推計)
 費用便益比 B/C：1.6

工程表

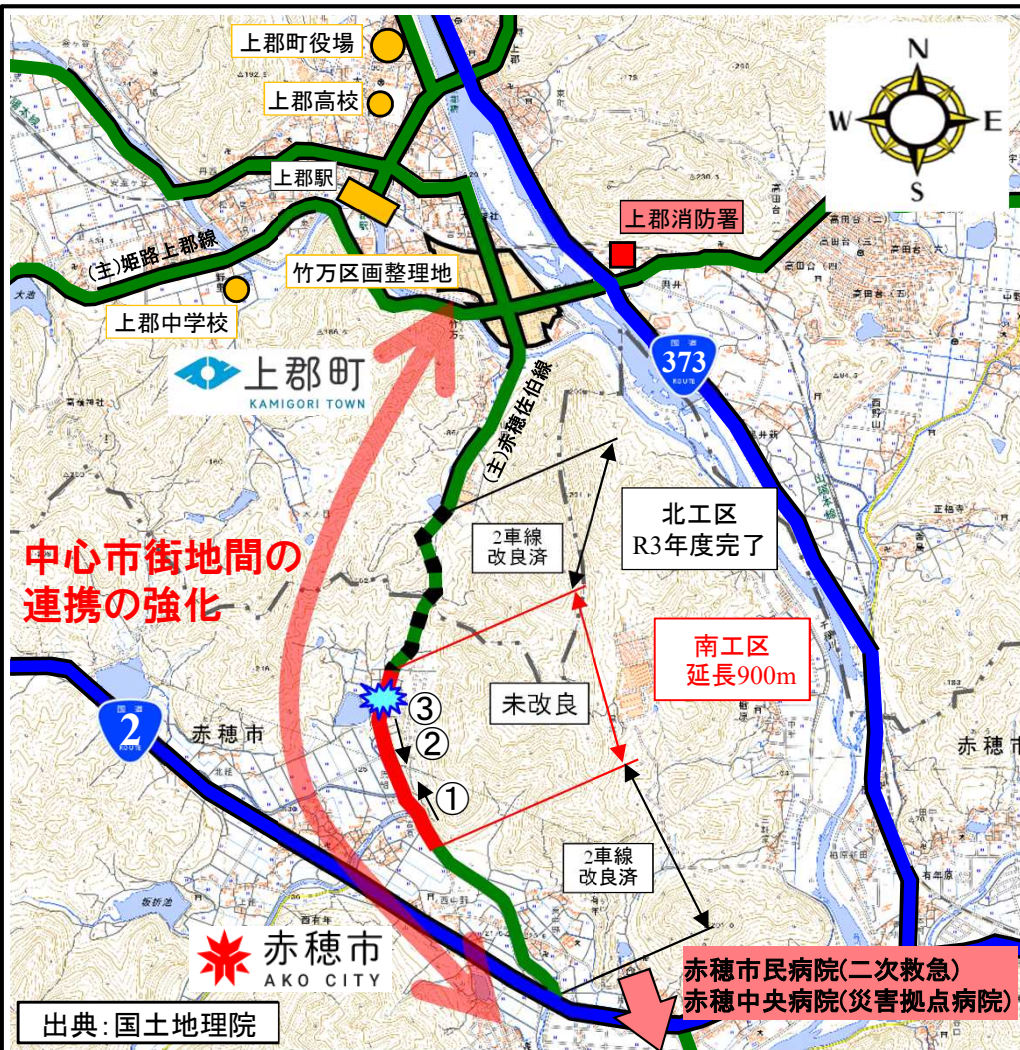
工種	年度							
	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
調査・設計								
用地補償								
道路改良								



事業の必要性・優先性

- ①令和3年度に完成した北工区に引き続き整備することにより、当路線の県内唯一の幅員狭小区間を解消し、安全・安心で円滑な交通を確保する。
- ②幅広路肩を設置し、自転車(中・高校生の通学)の安全な通行を確保する。
- ③赤穂市・上郡町の中心市街地間の連携強化を図るとともに、上郡町内から赤穂市内への救急搬送時の速達性・安全性を強化する。

平面図



- ### 凡例
- : 事業区間
 - : 国道
 - : 県道
 - : 既設歩道
 - : 公共施設
 - ★ : 物損事故発生箇所

救急隊員の声

- ・緊急搬送で赤穂市方面へ向かう際に、当該区間を使うことが多い。
- ・夜の(主)赤穂佐伯線は対向車が見えづらく、また幅員が狭くすれ違いづらいため運転しにくい。
- ・安全に救急搬送を行うためにも早く道路改良をして欲しい。

上郡消防署ヒアリング (R.5.6月実施)

現況写真

①幅員が狭く車両の離合が困難



②自転車と車両が幅狭し危険



③大型車が中央をはみ出して走行

